

東海大学付属浦安高等学校・中等部

市進学院主催 学校訪問会レポート
2016年 7月 5日 (火)

2016年7月5日、前日までの暑さから一転、涼しく感じられる気候の中、東海大浦安高校・中等部の学校訪問会が行われました。

校門前に立つと、「卒業生がオリンピック出場」「全国大会出場」などの数々の垂幕が目に入ってきます。校門から入ると広々とした空間があり、開放感あふれる雰囲気です。



茂泉校長より、「今年度から土曜日に『総合的な学習の時間』として、体験的な学習を行っている」「大学の先にある人としてのあり方生き方を考えさせていきたい」というお話がありました。

続いて中学受験の部では、酒井教頭から教育内容についての詳しいお話があり、医学部、看護学部、パイロット養成の学部、ハワイにある短大など、しっかり将来を見据えて進路を選んでいる生徒が多いというお話を聞くことができました。

説明会の後は校内見学が行われました。当日は期末テストの日だったためか、試験中は厳かな雰囲気でしたが、試験が終わった後は生徒たちの開放感あふれる元気な声が聞こえてきました。

体育館や校庭などの施設は非常に充実しており、さすがスポーツの強豪校という印象です。職員玄関、2階のロビー、体育館入口など、各所に置かれたトロフィーや賞状、盾が輝いています。



先生方の自信あふれるお話に、参加された保護者の方も安心感を得た方が多いのではないかと思います。また、すれ違う生徒たちが、元気よく「こんにちわ！」と挨拶してくれるのが印象的でした。現在は8割の生徒が東海大学に進学し、他の大学に進学する生徒は2割ですが、「これからの大学入試改革によって状況は大きく変わっていく、生徒が自分の将来を考え、東海大学以外の進路を選択するのであれば応援していきたい」という力強いメッセージを受け取ることができた説明会でした。